



にいつ ホット

2004. 1 vol. 634

# Station

発行所 新潟商工会議所  
〒 956-0864 新潟県新津市本町 3丁目 番 号  
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332  
Email:n- cc@fsnet.or.jp  
URL http://www.niitsu.or.jp/  
編集発行人 里村 進 毎月 1 回発行

新津市内でお買い物、飲食をしましょう!!



新年の「あいらじ

新潟商工会議所会頭  
馬場 欣一

新年明けましておめでとございます。会員の皆様には、日頃、当商工会議所に多大なるご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。厳しい経営環境の中、皆様方におかれましては、年頭にあたり「今年こそは、平和で、景気が本格的に回復する良い年になる様に」という強い願いと期待を持たれて新年をお迎えのことと存じます。

顧みますと、昨年は、新型肺炎SARSのアジアでの流行、イラク戦争の勃発と終結後の混乱の激化、北朝鮮の核や拉致問題による緊迫不安、デフレの進行と景気の低迷、リストラによる雇用不安と失業率の増加、など内外とも明るい材料は見当たりませんでした。しかし、年後半には、アメリカの順調な景気回復などを受け、デジタル機器や自動車などの大企業を中心に業績が好転しております。上場企業の九月中旬決算は製造業を中心に、増収とリストラの相乗効果で好決算が目立っておりますし、企業の景況感も改善しております。政府も、十一月には、「景気の持ち直し宣言」を行い、日本経済は回復軌道に乗ったとの認識を示しました。しかし、円高や不安定な株価、一部地銀の破綻などによる金融システム不安などは、ようやく底離れしつつある景気にとって大きな懸念材料になっております。政府で議論が始まった年金改革や個人への増税志向の鮮明化など、弱者への負担強化も気になるところです。昨年十一月に行われた衆議院議員選挙は、与党の勝利に終わり、小泉内閣は信任されましたが、早期にデフレを克服して、景気を実質的に回復軌道に乗せてもらうことを強く要望するとともに、地方や中小企業者にも気配りをした政治をしっかりとやって頂くことを期待しております。

さて、新潟県内の経済状況も全国と軌を一にして、昨年後半から回復に向けた動きが見られます。海外需要の好調を背景に、電気機械などの企業の生産活動が持ち直しの動きを続けており、地場大手企業の八、九月中旬決算は、約半数が好調さを示しております。しっかりとした基調ではないにしても、県経済は緩やかな改善の動きが出て来ております。サッカーJ2のアルビレックス新潟のJ1昇格も明るい話題であります。次に、新津市の経済状況については、厳しさが続いております。新津市内でも一部製造業では生産活動が好調なところも見受けられますが、全般的には低迷、低調であります。当会議所が実施した「新津市中小企業景況調査」によると、ほぼ全業種にわたって売上高や採算、資金繰りが悪化、もしくは、きわめて悪化しており、先行きの見通しも非常に厳しいという報告がされております。私共中小企業が、長引く不況で経営努力の限界を超える状況に追い込まれて、非常に苦境に立たされていることを、如実に示しているものと思われまます。

さて、こうした厳しい状況の中で、当会議所としても着実に諸事業を展開しております。まず、新潟市を中心とした周辺十三市町村による広域合併問題については、関係市町村による任意協議会が終了しましたが、法定協議会への移行問題など、合

併協議の山場はこれからであります。当会議所の合併問題に対する取り組みは、昨年六月に、新津市長宛に「広域市町村合併に関する意見書」を提出しました。十月には、新潟市政令指定都市の実現に向けて、支援協力して行くために、「まちづくり協議会」を発足させ、諸活動を始めました。十一月中旬には、新津市長市議会議員に、当会議所と「まちづくり協議会」の連名で、「田園型政令指定都市」の早期実現に向けての要望を行いました。また、「政令指定都市の実現を訴求する」チラシを作成して、新津市民と会員向けに配布いたしました。また、新津市長、新潟市長による政令指定都市の実現に向けた「講演会」も実施しました。政令指定都市に向けた広域合併は、新津市が二十一世紀に大きく飛躍、発展するためにも是非とも実現しなければならぬものと確信いたします。

次に、新潟薬科大学関係については、既に設置済みの会議所・大学・市の三者定期協議会を通じて引き続き多方面に亘り、同大学に協力するとともに、パイオニア関係を持つ会員を対象に、昨年六月から「パイオニア講座」を開講して好評を博しております。さらに、大学と会員との親密化を図るために、「交流会」を開催しております。今年四月には、新潟にある薬学部の一部移転も始まり、同大学新津キャンパスには、応用生命科学部と薬学部を合わせた学生数は、約六百五十名に達します。多くの学生による「まちの賑わい」が期待されます。

また、かねてより建設中の新津橋上駅については、工事が完成し、昨年十二月六日に開業しました。新駅のオープニングに合わせて、商店街も巻き込んだ「歓迎大売り出し」や「数々のイベント」を実施して、新駅の開業を祝いました。新駅は新津市の表玄関として、市民の利便性の向上と中心商店街の活性化に大いに貢献することが期待されます。また、新駅の駅舎内には、当会議所でショーウィンドウを設置して、新津市の観光と物産をPRしております。

また、当会議所として、意見要望活動についても、積極的に取り組んでおります。

県や新津市をはじめ、日本商工会議所や県商工会議所連合会に対して、地域の振興や中小企業の活性化のために意見要望活動を展開しております。

また、当会議所は会員企業のために、金融、経営、税務、新規創業等の相談事業と各種セミナーや講演会等に力を入れて参ります。相談事項がありましたら当会議所の経営指導員に何なりとご相談願います。

不況は、しばらくは厳しいまま推移するものと思われまます。会員企業の皆様には、めげず、希望を持ちながら、自己責任、自助努力でもってこの難局を乗り切って頂きたいと思っております。今年がますます充実した一年となるようにご期待申し上げますとともに、ご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて年頭のご挨拶いたします。